

41号

題字 六ッ美西部小
5年 新實祐太郎

かいほう



岡崎市現職教育委員会 特殊教育部会

平成11年12月6日発行



「お手伝い」二話

秦梨小学校長

鈴木 忍

一年生の中でも、A君はもっともやんちゃでいたずら好きである。いつも何かしらいたずらをしているが、にくめない顔でニコツとされると、周りの表情も和らぐ。

そんなA君には意外な一面がある。草むしりの達人なのである。掃除の時間に一緒に草をとるときがある。小さな草まで指先でつまんで器用に引き抜く。とつた草の根の土をパツパツと払い、自分の缶の中へ入れる。それが実に手早いのだ。十四、五分で缶が一杯になる。その集中力は日頃のいたずらぶりからは想像できない。聞いてみると、家でおばあちゃんと一緒に草むしりをするときがあるという。おばあちゃんに教えられたとおりに、自然に体が動くようになっていた。

教え子のA子さんの弟が、昨年度の市の中学生の主張コンクールで自閉症のお姉さんのことを次のように語っている。

「姉は忙しい母を助けて、家事を積極的に手伝います。家の掃除、洗濯…僕は何かと理由をつけてやらないときがあるが姉は立派です。」
手伝いを自主的にこなすA子さんも立派だが、役割を与えて、家族の中でなくてはならない存在とさせた両親の教育方針もすばらしい。障害のあるなしにかかわらず、家族の一員としての意識を育むのに、手伝いの占める比重は大きい。だが昨今…。

プログラム

- 1. いち、にの、さんぽ (全員)
- 2. ぴよんぴよんうさぎ 玉入れ! (全員)
- 3. ディズニーの仲間たちとあくしゅ (小高)
- 4. かわいいあの子に会えるかな? (中親)
- 5. ポムポムプリンのふしぎなかご (小低)
- ▲ おべんとう ▲
- 6. スターウォーズ・エピソード5 (中)
- 7. だんご三兄弟 (小親)
- 8. 徒競走 (中)
- 9. ジェンカ (全員)

第17回

子どもと親の集い運動会

平成11年9月17日

岡崎市総合公園・体育館



教師の声

『僕はいつしようけんめい走りました。なんと僕は一位でした。一位になれたのは初めてでした。お母さんも「一位になれてよかったね。」とほめてくれました。お母さんにほめられてますますうれしくなりました。』

『かけっこで私は一ばんでした。うれしかったです。お母さんが「はやかったね。」とほめてくれました。お母さんのひざでねておもちみたいなあしでした。すべすべしてきもちいいです。』

二人の作文には、一位になれた喜びと、お母さんにほめてもらえた親子の温かいふれ合いに満ちた喜びが書かれているように思う。



ディズニーの仲間たちとあくしゅ

競走である以上、一位の子もいれば、びりになる子も必ずいる。一人一人の子に楽しんでほしいと願って夜遅くまで競技内容の検討を重ねた。また、笑顔で競技をする姿を思い浮かべながら夏休みの暑い中、道具を作った。

運動会当日、歓声をあげ笑いに満ちた顔で演技をし、応援する姿を見て、今までの苦勞が喜びへと変わった。このような思いをしたのは私一人ではあるまい。

子供たち、保護者の皆さん、岡崎ライオンズクラブの方々、来賓の方々、そして、その他の方々の熱意とご協力のおかげで運動会も大成功に終えることができました。ありがとうございます。

あうちの方の声

竜海中 保護者

小学生、中学生、先生と保護者全員が一体となり集う運動会は、他では味わうことのできないものがあります。キラキラと輝く目、楽しさを体いっぱい表現し、いつもの子供たちより大きく見えました。

今年が最後となった運動会、力いっぱい走った徒競走のときのよう未来に向かってつっ走れ!

子供の声

亀美丘小 藤岡 大樹

うんどうかい。たいぎ、プラカードもってあるいたよ。「いちに、いちに。」おもちったよ。シャツチーくんきたよ。あくしゅした。うれしかった。うさぎのたまいれしたよ。ママとたいぎと、だんご三きようだい、はこんだよ。たのしかったよ。またいきたいな。

山中小 酒井 しほ

だんご三きようだいをおかあさんとやった。さらにボールをいれて、ぐるつとはしった。

山中小 村手 藍

あおいたまでたま入れをやった。わたしがなげたら、入らなかつた。校長先生がたまをなげた。わたしは、がんばれとおうえんした。

矢北中 山本 倫生

僕は、旗手をやりました。緊張したけど、真剣にやりました。うさぎがとぶ玉入れは楽しかったです。一番うれしかったことは、徒競走で一位になったことです。とっても気持ちよかったです。みんなも応援してくれてうれしかったですよ。僕にとっては中学校最後の運動会。たくさんの思い出を作るこ



ぴよんぴよんうさぎ 玉入れ!



かわいいあの子に会えるかな?



ポムポムプリンのふしぎなかご

目の不自由な方々の

教育相談について

愛知県立岡崎盲学校長

伊藤 澄男

岡崎盲学校には、幼稚部、小学部、中学部、高等部があり、四歳から六十歳前後までの全く見えなくて点字を使用する「盲」児者から、見えにくさをレンズ等で補う「弱視」児者までの様々な目の不自由な幼児児童生徒八十余名が学んでいます。

さて、本校では、お子さんや中途失明者が障害に負けないで成長し自立されるためのお手伝いとして、次のような教育相談に応じています。

一 乳幼児および就学前の幼児に対して

四歳未満の乳幼児の家庭での育て方、遊ばせ方、しつけ等養育相談、および保育園・幼稚園・施設に通っているお子さんの気がかりなことについて

二 小・中学生に対して

三 高校生に対して

現在の視力と目の病気に配慮しながら、見え方に応じた勉強の仕方、学習や生活での困難点についての弱視教育相談および、必要に応じて小・中学校への巡回相談

四 中途失明者に対して

上記の相談のほか、あんま・マッサージ・指圧師、はり師、灸師の資格取得を目指す生徒の進路相談など
病气その他で、目に障害のある中途失明者の社会自立・職業自立に向けての点字や歩行に関する情報提供および入学に関する相談、更には必要に応じた関係機関の紹介等々

以上、各部の部主事をご相談に応じます。お気軽に左記へご連絡ください。

☎0564-52-1282



校訓碑

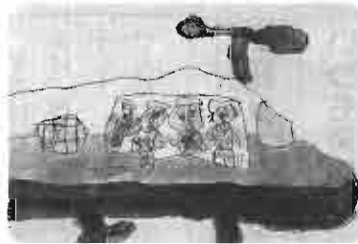
岡崎ライオンズクラブ招待 社会見学

航空宇宙博物館

十月六日(水)に、岡崎ライオンズクラブ様のご招待で、市内百四十二名の児童が六台のバスで、かかみがはら航空宇宙博物館へ行きました。

十王公園での結団式では、細川小学校の白坂和也君が、お礼の言葉を元気いっぱい立派に言ってくれました。また、梅園小学校の市川三男様に保護者の代表として、謝意を述べていただきました。

博物館には、たくさんの飛行機が展示してあり、子供たちの興味を引きました。また、ジェット機の迫力あるアクロバット飛行や火星への探検も体験できました。紙飛行機作りやヘリコプターの模擬操縦を楽しんだ子どもいました。



絵 福岡小 5年 杉浦 貴志

招待映画鑑賞会

ツイエンターテイメントコーポレーション様のご厚意で、七月十二日から八月四日までの間、小中学校の子供たちが映画を楽しみました。

今年で十三回目になる今回も、「スターウォーズ」、「となりの山田くん」などの中から、子供たちが興味のある映画を学校ごとに選んで鑑賞させていただきました。

子供たちは、大きなスクリーンにひきつけられ、どきどきしたり、歓声をあげたりと、映画を十分に楽しんでいました。

「楽しかったね。」
「また、来たいね。」
といった声が聞かれました。

がんばってます12

県立三好養護学校

高等部一年

福島 智美さん

がっこうにはまいにち、じてんしゃでかよっています。あめのひは、カッパをきなければならなくてたいへんです。がっこうではうんどろかいや、じっしゅうなどはありません。じっしゅうは10が18にちから30にちまでやりました。じっしゅうは、ほうせいはんでした。ふくろづくりで、しつけぬい、ミシンぬいをやりました。じゅんび、かたづけができました。がんばってやりました。これからは、もうすこしながくできるようにしたいです。



「宿泊学習」の思い出

篠田 守代

担任となって一年目、昼間の子供の姿は知っていても、夜中の様子は分からないので、ひどく緊張したことを覚えている。木造校舎の教室で、やつと寝込んだ子供のお地蔵さんのような顔を見ながら夜を明かした。運動場の向こうに昇った大きな朝日の美しさは忘れられない。

夕方から始まる「バーベキュー」

「バーベキューにきてね。いっしょに たべよ。ね。ねるよ。ひとりでねるよ。きてね。」

退職して家にいる私のところへ「宿泊学習」の招待状が届いた。スイカの絵の中に、子供のかわいい文字が踊っている。

「宿泊学習」は十年ほど前、鈴木忍先生や蜂須賀先生が福岡小学校にいらつしやつたときに始められた行事だと聞いているが、それを受け継いで、私は五年間取り組ませていただいた。例年、夏休みに入つてすぐ実施した。一日目は、プール・買い物・スイカ割り・バーベキューの準備とバーベキュー・花火、二日目は、朝食を食べ

て解散という日程であった。親から離れて宿泊をするということ、子供や親にとつても、担任にとつてもよい体験であった。

担任となつて一年目、昼間の子供の姿は知っていても、夜中の様子は分からないので、ひどく緊張したことを覚えている。木造校舎の教室で、やつと寝込んだ子供のお地蔵さんのような顔を見ながら夜を明かした。運動場の向こうに昇った大きな朝日の美しさは忘れられない。

夕方から始まる「バーベキュー」

「バーベキューにきてね。いっしょに たべよ。ね。ねるよ。ひとりでねるよ。きてね。」

退職して家にいる私のところへ「宿泊学習」の招待状が届いた。スイカの絵の中に、子供のかわいい文字が踊っている。

「宿泊学習」は十年ほど前、鈴木忍先生や蜂須賀先生が福岡小学校にいらつしやつたときに始められた行事だと聞いているが、それを受け継いで、私は五年間取り組ませていただいた。例年、夏休みに入つてすぐ実施した。一日目は、プール・買い物・スイカ割り・バーベキューの準備とバーベキュー・花火、二日目は、朝食を食べ

て解散という日程であった。親から離れて宿泊をするということ、子供や親にとつても、担任にとつてもよい体験であった。



夕方から始まる「バーベキュー」

私の教室日記

「S君とT男」

城南小 山田留利子

日頃、学級の中では自分の思いを素直に出すことができず、自分勝手なままな面が目立っていたT男が、交流にきているS君と席を並べて勉強することになった。

T男は、S君にやさしく声をかけ、何かと面倒をみはじめた。そして、一緒にいたずらをし、けんかもした。T男本来のやさ

しき、素直な気持だが、S君に対しては自然に出せるのだ。いっしょか二人は、とても気の合う友達同士になつていた。

そして、そんな二人の様子を見て、他の子供たちもS君と積極的に付き合うことができるようになり、T男のやさしさにも少しづつ気づくことができるようになった。

S君との交流がS君だけでなく、T男や他の子供たちにとつてもプラスになつていくといえる。うれしいことである。

学級スナップ

いつも笑顔で

矢南小 五組

本年度スタートした五組の仲間、三年生二名、四年生一名の笑顔。いっばいの仲良し学級です。子供たちはだれに対しても進んで挨拶できるすばらしい面を持ち、自己紹介も元氣よく行います。

また、アゲハチョウの卵を成虫になるまで飼育する体験から始め、うさぎ、ハムスター、かめ、金魚と仲間を増やして楽しんでいきます。



今後も一人ひとりの長所を伸ばしながら、のびのびと成長して欲しいと願っています。